

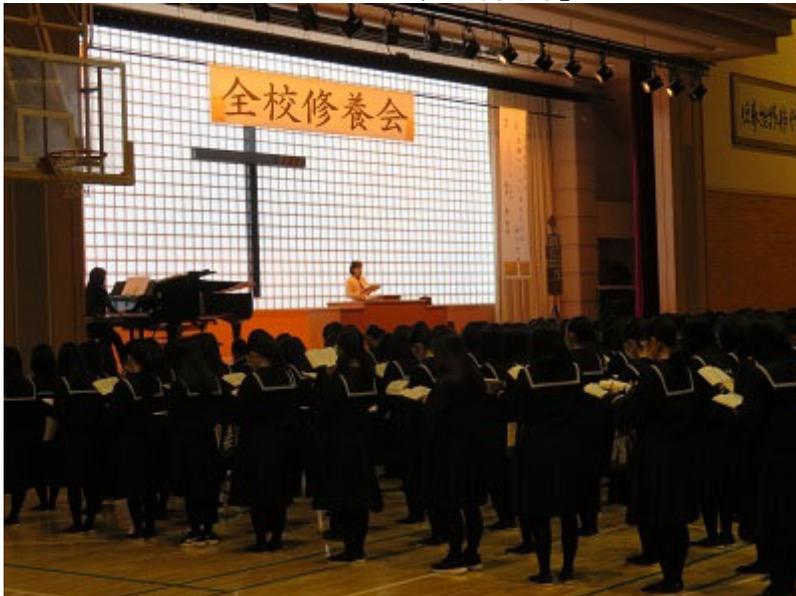
# 全校修養会を実施しました！！

10月28日（水）に秋恒例の遺愛女子中学高等学校の全校修養会を行いました。例年ですと外からクリスチャン講師をお招きして、遺愛アリーナで1日半かけて全員で修養会を行います。しかし今年は、新型コロナの関係で1日日程にし、最初の開会礼拝だけ全校で遺愛アリーナに集まって行い、そのあとは各ホームルーム教室で録画画像や校内放送を視聴し、話し合いの機会を持ち、学びあいました。

今年の修養会のテーマは『福祉』で、講師は滋賀県の止揚学園園長の福井生（いくる）先生でした。やはりこの新型コロナのために高齢者の多い止揚学園を離れるのは困難であるということで、45分間の講演ビデオを2本送って下さいました。聖書科の百武先生が、それをもとに工夫を凝らしてプログラムをアレンジし、きめ細やかな書き込み式の資料を作り生徒に配布し、担任の先生の指導の下、修養会を進めました。

止揚学園は滋賀県にある重度の知的障がい者の福祉施設です。1962年に福井達雨先生が立ちあげ、今年58周年を迎えています。

達雨先生には過去4度、遺愛の修養会に来ていただき、遺愛の先輩たちにとっても大きな影響を与えて下さいました。今年は息子さんの生（いくる）先生が初めて来て下さるのでとても楽しみにしていましたが、新型コロナのために残念ながらビデオ参加でした。それでも生（いくる）先生のメッセージはしっかりと生徒の皆さんに伝わっていたと思います。生まれた時から止揚学園で生活してきた生（いくる）先生は、止揚学園にいる園生を「仲間」と呼びます。生（いくる）先生は「仲間」たちのことを次の様に書いていました。…「仲間」たちの心の言葉には隠し事ありません。ありのままの優しい思いを私たちにあらわしてくれます。それは心の形と言っているかもしれませんが。その心の言葉が聞こえた時はじめて気づきます。私が「仲間」たちを支えているのではなく、「仲間」たちが私を支えてくれていることを。あまりにもその言葉が優しく私を励ましてくれることです。この世界に存在する生命は全て尊く温かいです。「みんなで神様が与えてくださった生命を温めあいましょう。」…2本の講演ビデオで紹介された4人の園生のエピソードから生徒の皆さんは、生（いくる）先生の言葉を実感できたと思います。



2020年10月30日